

教職にかかわる情報公開（教員の養成に係る教育の質の向上に関する取組）

教職課程委員

本学では、教員の養成に係る教育の質の向上に関する取組として、多様な取組を展開し、質向上のPDCAサイクルを回すとともに、PDCAサイクル自体をも改善し、教育の質の向上に努めています。

具体的には、次のような取組を展開しています。

P:計画・D:実践

- ・教員養成の理念、目標、実施計画等の設定、実践。
- ・教職課程室の設置、専門スタッフの配置、教員養成の充実にむけた情報収集と学生・教員サポートの展開。
- ・学習支援センターの設定、専門スタッフの配置、学生・教員サポートの展開。
- ・履修カルテや教育実習録を通じた指導・面談。
- ・現職教員との授業連携、情報交換。
- ・少人数での丁寧な指導。
- ・グローバルな視点に立った教育科目の設置。
- ・実践的な学習を行う授業に加え、教育や教養に関する広い知識・考え方の提供。
- ・模擬授業、ディスカッション、ケースメソッド、ディベート、探究と発表などを通じた、アクティブ・ラーニングの導入。

C:評価・A:改善

- ・学生による授業評価アンケートの実施と、教員へのフィードバック。
- ・学生による授業評価アンケートや学生の反応、他教員の授業等をふまえた教員による「授業報告書」の作成と公開。
- ・介護等実習先や教育実習先との情報交換。
- ・教職課程にかかる会議でのカリキュラムや授業法についての改善議論。
- ・教職課程室・学習支援センターの専門スタッフによる学生との情報交換。
- ・教職課程室・学習支援センターの専門スタッフと教職課程委員との教育改善にかかる情報交換。

以上のような取組を展開するために、教員養成に係る全学的組織「教職課程委員会」および教職課程を専門的にサポートする「教職課程室」、学生の学習をサポートする「学習支援センター」が核となり、関係する各学科、および全学の教育課程にかかる教務委員会や学長・学務担当副学長と連携しています。